

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R8.5.21	医療事故(心 タンポナーデ 発生後の搬 送遅れによ る死亡)に関 する公開質 問状	2026年4月に報告された医療事故(2年前の事案:心タンポナーデ発生後の搬送遅れによる死亡)について、以下2点を確認します。 ① 賠償金額・内訳・支払元の開示について 当該事故は公立病院で発生したものであり、賠償金の支払いに公費(市民の税金)が使用された可能性があります。 つきましては、以下の情報を開示してください。 ・支払われた賠償金額 ・その内訳(慰謝料・治療費・弁護士費用等) ・支払元(病院会計・市の一般会計・保険等) 公立病院として、市民に対する説明責任を果たすためにも、これらの情報開示は不可欠と考えます。 ② 再発防止策の内容と、現場への周知徹底について 当該事故の報告では「再発防止策を講じた」とされていますが、病棟責任者・看護師らが事故内容を把握していない状況でした。 そこで以下を確認します。 ・再発防止策の具体的内容を開示してください。 ・再発防止策に「医療従事者への周知徹底」は含まれていますか。 →含まれていない場合、その理由を提示してください。 →含まれている場合、どのような方法で周知し、どの職種・部署に対して実施したのか明示してください。 ●補足 今回の事故の原因は「判断の遅れ」「状況把握の不足」であり、これは先に送付させていただきました、私が経験した一連の問題点(市民の声:「西尾市民病院の対応における重大な問題点と改善要求」と共通しています。 再発防止策が現場に伝わっていないのであれば、再発防止策が機能していないことを意味します。 以上について、明確な回答を求めます。	1 賠償金額・内訳・支払元の開示について 本件に係る損害賠償金につきましては、合計1,000万円となります。その内訳は、すべてご遺族への慰謝料となっております。 なお、本件の賠償金およびこれに付随する弁護士費用につきましては、全額保険金により対応することとなっております。 2 再発防止策の内容と、現場への周知徹底について 再発防止策といたしまして、カテーテルアブレーション実施時の安全確認を強化するためのチェックリストを新たに作成いたしました。 また、手術時の観察記録用紙につきましても、施行内容をよりの確に把握できるよう様式を改訂しております。 これらの措置につきましては、関係部署である画像情報室、臨床検査室、6階西(循環器内科)病棟の医療従事者へ周知しておりますが、その他の部署には行き届いておりませんでしたので、改めて周知いたしました。	管理課

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R8.5.21	西尾市民病院の対応における重大な問題点と改善要求	この度、西尾市民病院の対応に「重大な疑問」と「深い不安」を感じたため、公開質問として以下に記します。 複数の問題があるため、まず状況説明を行い、その後に問題点を整理します。 なお、これらはすでに発生した問題であり、「理由の説明」を求めているわけではありません。 どのように改善するのかについて、具体的な回答を求めます。 ① 緊急受診の拒否について 2026年●月●日、母(大腿骨頸部骨折後の人工骨頭置換・骨粗鬆症治療中)が出先で転倒しました。 当初は歩行可能でしたが、大腿部外側が急激に腫脹し、骨折・ヒビの可能性があったため、整形外科へ連絡し、午後の緊急受診を依頼しました。 しかし返答は以下の通りでした。 ・「午後は手術があるので診られない」 ・「そもそも午後は受け付けていない」 ・「主治医は外部委託で今日は不在」 ・「クリニックを受診してほしい」 ・(事務より)「紹介状をもらってきて戻ってください」 母は月1回の注射治療を受けており、簡単に他院へ移動できません。 また、画像診断を外部で行えば、今後の治療のために画像を持ち運ぶ必要が生じます。 外部クリニックは母の治療歴を知らず、説明の負担も増えます。 その後、母は徐々に歩行困難となり、医師の伝言として「骨折なら動かさない方がよい」との話もあったため、救急車で西尾市民病院へ搬送しました。 結果は骨折ではなく、大量の内出血であり、腫脹は朝の3倍以上。 市民病院にて緊急TAEを実施していただきました。 ●問題点 ・継続治療中の患者の緊急受診を拒否した ・事務が医療判断を伝達していた ・クリニックへの誘導は医学的に不適切 ・TAEが必要なほどの出血を「クリニックへ」と案内したのは極めて危険	ご質問のありました5点について次の通り回答させていただきます。 ① 緊急受診の拒否 について 申し訳ありませんが、時間外救急における外来対応では例え通院継続中の方であっても、専門医の受診はできないことになっています。ご来院いただいた時には当該専門医に手術の予定があったことも確認しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。 しかしながら、そのような中でも可能な限り来院された方の容体等を踏まえ対応可能であった場合には診療を行う場合もありますが、今回はとても対応困難な状況でありました。患者様側のご事情やご要望も十分理解できますが、当院としても限られたスタッフで精一杯救急対応させていただいておりますので、お望みの内容での受診が不可能な場合や他院への受診をお勧めするケースがどうしても出てしまうことを、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。 ② 説明不足と状況把握の欠如 について ご家族へのお声掛け・ご説明等の配慮が至らず、大変ご心配・ご迷惑をお掛けしてしまったこととお詫び申し上げます。また、定刻消灯についても配慮が行き届かず、暗い空間で長い時間お待ちいただいたこととお詫び申し上げます。 改めて関係職員に育成・指導を行い、待機していただく必要性や処置に要する概ねの時間など、ご家族が安心できる説明を欠かさないよう気付けてまいります。また、照明管理につきましては、スタッフ同士の情報共有をしっかりとすることで、今後ご迷惑をお掛けしないよう努めてまいります。 なお、不測の事態に備えて処置室近くでお待ちいただいておりますし、限られたスタッフでの緊急処置対応で時間が掛かることもありますので、何分望みどおりにいかない点についてはご容赦ください。 ③ 医師の指示待ちで止まる服薬管理 について 「いつから服薬できるのか」「今はなぜ服薬すべきでないのか」など、可能な限り医師に指示を仰いでお伝えすべきだったと考えます。大変ご心配をお掛けしました。また、医師に確認が取れなければ、その理由や状況を丁寧に説明することで、ご不安の軽減が図れたのではない	医事課

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
		・家族が強く主張しなければ、出血性ショックの可能性があった西尾市民病院は、治療の連続性も緊急性も理解せず、家族の訴えを拒否したと言わざるを得ません。 ② 説明不足と状況把握の欠如 TAEの説明後、書類記入中に「移動してほしい」と言われ、処置室前に移動しました。 しかし、 ・処置時間の説明なし ・消灯後の暗闇に1時間以上放置 ・複数の職員が通過しても声かけなし ・最終的に家族側から声をかけて状況確認 4階に案内された際、外はまだ明るく、暗闇は病院側の照明管理によるものでした。 ●問題点 ・家族への説明義務の欠如 ・安全配慮の欠如 ・暗所に家族を放置するという異常な対応 ・待機時間の提示なし 家族の時間を無駄にし、必要な準備もできなかった ③ 医師の指示待ちで止まる服薬管理 入院時に薬とお薬手帳を渡しましたが、翌日、母から ・「薬剤師が来ていない」 ・「目薬も錠剤も飲んでいない」 との訴えがありました。 確認すると「医師の指示待ち」とのことでした。 ●問題点 ・緑内障の点眼を止めるリスクを理解していない ・医師の指示が遅れても、看護師が確認しない ・入院直後であっても、最低限の服薬管理は必要 ・本人任せにする選択肢も提示されていない 規則を優先し、必要なケアを怠っているように見えます。 ④ 医療ミス情報の周知不足 2026年4月に報告された医療ミス(心タンポナーデ発生後の搬送遅れ	かと考えます。 服薬管理の情報共有に対して、患者様にご不安を与えないため医療スタッフ間で円滑な連携が図れるよう指導してまいります。 ④ 医療ミス情報の周知不足 について 「医療従事者への周知徹底」は再発防止策に含まれており、関係部署である画像情報室、臨床検査室、6階西(循環器内科)病棟の医療従事者へ周知しておりますが、その他の部署には行き届いておりませんでしたので、改めて周知いたしました。 ⑤ 患者家族への敬意の欠如 について 看護師が患者様家族に無神経な振る舞いや不適切な発言・雑談をしたことにつきましては、大変申し訳ありませんでした。直ちに当該職員に確認し、厳重注意を行っております。ご家族の不安が大きい中での不適切な行動にお詫び申し上げます。職員の接遇教育に努めてまいります。	

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
		による死亡)について、 病棟責任者と思われる方々に話を振ったところ、誰も内容を知らない様子でした。 ●問題点 ・再発防止策が現場に共有されていない ・情報伝達が機能していない ・「判断の遅れ」が原因の事故なのに、現場がその教訓を知らない 再発防止策に「現場への周知徹底」が含まれているか回答を求めます。 ⑤ 患者家族への敬意の欠如 4階東病棟にて、私が服薬管理の件で確認に行った際、看護師が私の名前を呼び捨てにし、私語をしていました。 その看護師は、私が看護学校にいた時の同級生でした。 ●問題点 ・患者家族を軽視した発言 ・公的な場での私語 ・接遇教育の不足 ・家族が不安を抱えている状況への配慮がない ●以上5点について、具体的な改善策の提示を求めます。 よろしくお願いいたします。		

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R7.11.4	西尾市民病院	西尾市民病院・事務部・ご担当者さまへ ご担当者さまには、本当に、お手間とお手数をおかけしてまして、誠に申し訳ない所ですが、これも西尾市民の一人としてどうしてもこのままの西尾市の財政状況を考えてみると、近い将来、経営が成り立たないのではないか？と危惧しております。それでいてもたってもいられない気持ちで、市民の声に投稿をしているのです。その辺の所を十分にご理解お願い致します。何もご担当者さまの日常業務を妨害する為に何度も何度も、市民の声に投稿している！嫌がらせをするつもりで投稿している！のではありませんので、その辺をご理解をお願い致します。 ところで今回はあま市民病院に続きまして、一宮西病院(愛知県一宮市、上林弘和病院長兼法人理事長)についてお伺いしたいです。ご担当者さまは一宮西病院の経営状況の方は把握していますか？ 病院経営の事務方を担当しているご担当者さまのことですから、ご存じ、周知しているのではないかと思いますか？ なぜ私が一宮西病院を詳しく調べて欲しい！と思ったのは、この病院の事務部長をしている前田昌亮氏の存在を東海テレビのプラスワンという報道番組で知ったからです。 前田氏は、キーエンスという民間会社に勤めていた人です。前田氏は、事務手続きなどを担う秘書とは別に、医師の要望を吸い上げたりマネジメントを行なったりする為の専門スタッフを2名設置している。 そして、能力に長けた事務方がいるからこそ、診療報酬の目標が目標で終わらず、売上アップが実現できる！と、言っています。 最後に、これからの時代に生きる病院であるためには、事務方の人材をいかに活用するかが、1つのキーになる！と、断言されています。 つまり、西尾市民病院の事務部長をはじめ、ご担当者様たち事務方の能力、手腕にかかっているのです！！ だからこそ、一度西尾市民病院の事務方も、一宮西病院の病院経営の手法を調査してみる必要があるのではないかと、思い、市民の声に投稿しました。 よろしくご回答の方をお願い致します。 指定管理者制度への移行(医療法人等へ経営委託)を念頭に置いて、西尾市民病院の経営改善に努めるべきではないでしょうか？	●●様が、当院の経営状況等についてご心配いただいていることは、十分に承知しており、有難いことと思っております。 先にお答えしているとおり、他病院の状況については、当院においても調査研究をしております。しかしながら、第三者である当院がその内容を公にすることはできません。ご理解いただきますようお願いいたします。	管理課

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R7.9.2	市民病院について	西尾市民病院の現在の運営状況と収支決算、そして今後の展望についてお聞きます。 西尾市民病院は、毎年赤字決算で、十数億の赤字を毎回計上していますが、この根本的原因は、来院患者の長期低迷にあることは間違いないと思います。今現在R7年3月期決算では、当期利益、繰越利益はどの程度でしょうか？又、来院患者増加の為に色々な政策を試みていると思いますが、いかんせん、対処方法にすぎず根本的な対策にはなっていないと思いますが、その対策方法を具体的に教えてください。又、最近、中日新聞朝刊西三河版に碧南市民病院の経営収益について記載がりましたが、ここでも毎年赤字経営が続いていて、今後十数億円を一般会計から繰り越すことが報じられていました。碧南市としても当面は、一般予算の繰り越しがまだあるので、かつ、財政不交付団体であるので、西尾市と違って、まだ余裕がありますが、前年か前々に西尾市民病院と碧南市民病院間とは、経営統合の件は碧南市の拒絶により、破談しましたが、再度の西尾市の方から積極的にアプローチすべきではないかと、と思いますが、この事については、市長はどのようにお考えなのでしょう？ 又、最近の中日新聞・朝刊・西三河版に記載されていた小児科の医師を愛知医科大学から受け入れをしたと、書かれていましたが、蒲郡市民病院と名古屋市立大学医学部との提携（名古屋市立大学医学部の教授を蒲郡市民病院の副院長に招くかわりに、名古屋市立大学医学部のドクターを蒲郡市民病院のドクターとして来てもらうというシステム）みたいなことは、たとえば、愛知医科大学や医学部や藤田医科大学医学部とかは提携できるようなシステムは、できないのでしょうか？ ただ、西尾市民病院も、ここ最近医療設備の更新をしていますが、いかんせん近隣には、安城更生病院や藤田医科大学岡崎医療センターもあり、ちょっとやそっとの先端医療設備を導入しても、付焼刃になってしまい根本的な収支改善にはならないことは、市民も十分承知していると思います。 だからこそ、市長のもっと積極的なアプローチが必要な時期がもう既に来ていると思います。 市長の今の腹づもりを聞かせてください！！よろしくお願い致します。	当院の経営状況等について、ご心配いただきましてありがとうございます。令和6年度における病院事業収支は、人件費の上昇と物価高騰などにより約17億円の赤字になる見込みです。 収支改善策としては、医師確保が最も重要と考えます。特に脳神経内科においては、常勤医師が不在のため、入院患者の受入れが出来ない状況になっており、収益に大きな影響をもたらしています。 しかしながら、今年度当初には、念願であった泌尿器科常勤医師を2名受け入れることができました。今後も収益向上となる診療体制の整備を進めていきたいと考えております。 次に、碧南市民病院との関係については、当院としては重要な医療機関の一つとして認識しており、引き続き経営統合にかかる調査・研究をしつつ、一層の連携強化のため関係構築を図っているところです。 続いて、大学医局との連携については、当院は名古屋大学医局から数多くの医師を派遣していただいております。今後も、同局に相談、また、ご協力いただきながら強固な関係構築に努めてまいります。このほか、今年度泌尿器科の常勤医師を派遣していただいたのは、名古屋大学ではなく他の大学であり、新たな関係構築の強化と言えます。 最後に、医療機器の更新については、安城更生病院等と競合するというより、医師派遣を含む医療連携を見据えた投資であり、急性期医療の堅持に必要なものと判断しております。 大変貴重なご意見をいただき感謝申し上げますとともに、今後の市民病院の経営の参考とさせていただきたいと存じます。	管理課

市民病院

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R7.6.16	西尾市民病院の予約時間に関して	市民病院の予約時間に関してお聞きしたい 予約時間から1～2時間遅れが通常となっています。 これは何十年も前からのことで、今も必ず遅れます。 これでは予約の意味が全くありません。 本日も10時30分の予約で10時に受付し、帰れたのは1時30分です。 想定外のことが起こったならば仕方ありませんが、毎回だから、もう想定外が言い訳にもならないと思います。患者は全員病人です。体調の悪いのに2時間以上も待たされ、さらに体調が悪くなることがあります。病院関係者は患者のことを考えているのでしょうか？ このようなことが何十年も続けられているのは、関係者の怠慢としか言いようがありません。先ずはひとつお聞きします改善する気持ちはありますか もし改善するつもりがあるならいつからどのように改善するかお答えください。	この度は診察の待ち時間について、ご不便をお掛けしまして申し訳ございませんでした。 当院では、一部の診療科で常勤医が令和6年度から不在となったことや、近隣病院で新規患者の診察が中止になったことにより、患者さんが増加しております。また、医師不足のため、従来から大学医局に毎年訪問するなど医師確保にも努めておりますが、増員できていない状況です。 このような状況の中で、できる限り予約時間に診察できるように取り組んでおりますが、受診されている患者さんの診察内容によっては時間を要してしまい、予約時間にお呼びすることができない場合がございます。これは、診察を受けられる患者さんのお申し出を傾聴し、患者さん一人一人の状態に合った治療を行っているためでございます。 今後とも、より一層医師の確保に取り組むとともに、診察の待ち時間が少しでも緩和できるように努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 なお、お待ちいただいている間にご気分が悪くなるようでしたら、お近くの病院職員までお申し出ください。よろしくお願いいたします。	医事課